

ももクロ春の一大事2022

～笑顔のチカラつなげるオモイ in 檜葉・広野・浪江 三町合同大会～



写真提供 上飯坂一、増田慶



写真提供 上飯坂一、増田慶



開会セレモニー 写真提供：上飯坂一

▲左から松本幸英檜葉町長、遠藤智広野町長、成井祥浪江副町長



写真提供 上飯坂一、増田慶



◀多くのモノノフであふれる「ヴィレッジ駅」



大輪の笑顔咲く

復興・創生へのチカラに

「ももいろクローバーZ」の野外ライブ「ももクロ春の一大事2022」笑顔のチカラつなげるオモイin檜葉・広野・浪江三町合同大会」が4月23日（土）、24日（日）の2日間、復興のシンボルである「ヴィレッジ」で開催され、2万人を超えるモノノフ（ももクロファンの呼称）が集まりました。遠藤町長をはじめ、檜葉町の松本町長、浪江町の成井副町長が開会を宣言し、メンバーが登場すると会場からは大きな歓声が上がりました。

ライブ会場隣には、だれでも入場ができる「きてくんちえパーク」が設けられ、地元物産が多数並びイベントを盛り上げました。



「春の一大事」は、2017年から埼玉、滋賀、富山各県で開催され、2020年に福島県で開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け、2度延期の末、開催されました。そんな中、全国から集結し、会場をカラフルに彩ってくれたモノノフの皆さん。広野町出身のモノノフは「自分が生まれ育ったふるさとでの開催は、モノノフとして信じられないことだし、これからの町を元気にする力をもらった」と話してくれました。今回のイベントで得たエネルギーを復興・創生へのチカラに変えていきます。